

1. レイヤー構成について

本ファイルの使用方法

データをどのように加工、保存等したら良いかの詳細が記載されております。

被るベルト部分 (印刷用画像作成時は非表示)

ベルト部分と手帳本体が重なる部分です。

ブックレザー (印刷用画像作成時は非表示)

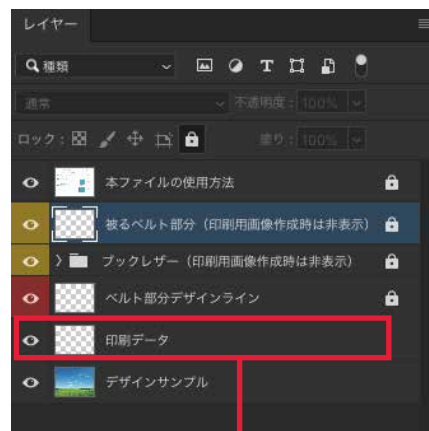
製品イメージの参考にご利用ください。
実際の印刷とは多少異なる場合があります。

ベルト部分デザインライン

ベルトデザインはこのライン内に収めてください。
※本体部分とベルト部分の色を変えるデザインの場合は、印刷時に若干ずれる可能性があります。詳細は「4. ベルト部分デザインについて」をご確認ください。

印刷データ

実際の印刷用デザインをこちらのレイヤーにサイズいっぱいにデザインして下さい。

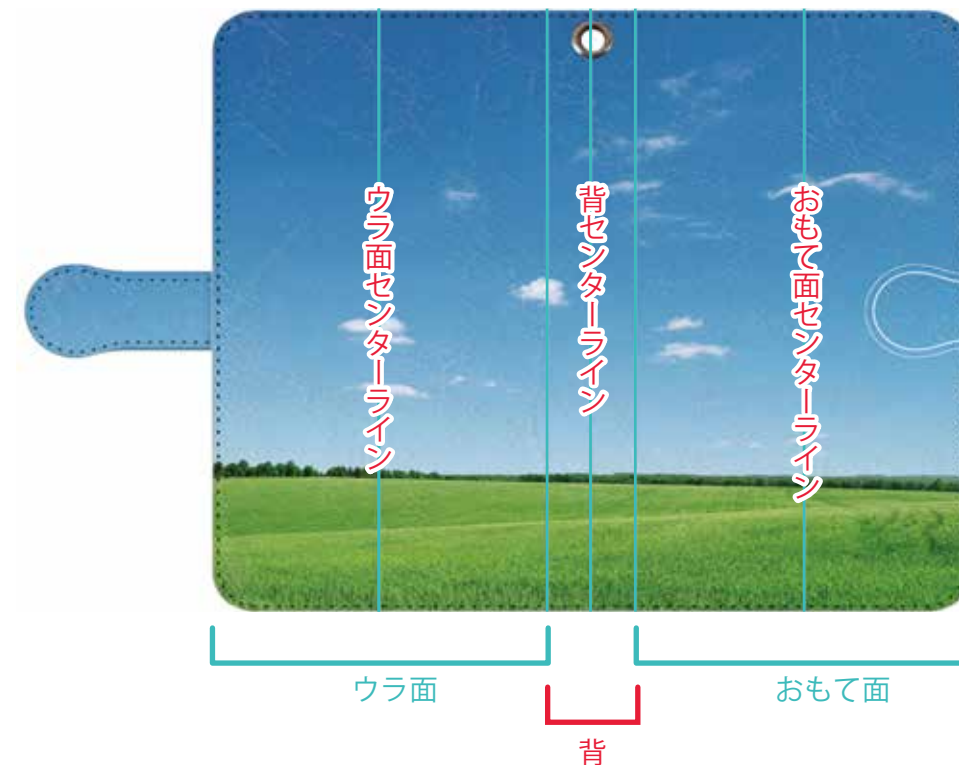


2. ガイド線について

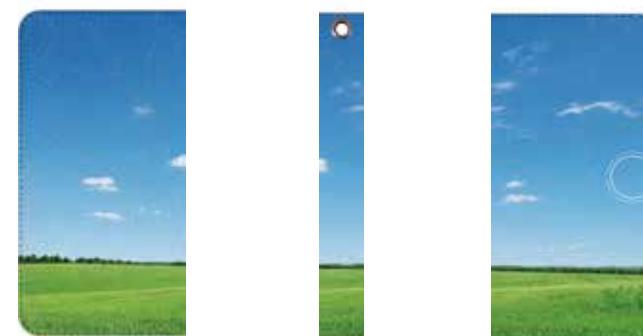
本テンプレートにはウラ面・背・おもて面の場所を示すガイド線が引かれています。

こちらのガイドをデザインの目安にしてください。

※ガイド線が表示されていない場合は、メニューバーの「表示」→「表示・非表示」→「ガイド」から表示させてください。



★折りたたむと右のような見え方になります



3. デザインに関する注意点

✓ テンプレートサイズいっぱいにデザインをしてください

必ずテンプレートサイズいっぱいにデザインをしてください。サイズが足りない場合は白いフチが出てしまうなど全面に綺麗に印刷されない可能性があります。



- ・テンプレートサイズいっぱいにデザインされていない
- ・デザインが足りないと、印刷が切れてしまう可能性があります



- ・テンプレートサイズいっぱいにデザインされている



✓ 画像を貼りつける際は解像度にご注意ください

用意した画像を貼りつける際は、なるべく解像度の高いもの（解像度：300dpi 推奨）を使用して下さい。解像度の低いものを使用すると鮮明に印刷されないことがあります。

✓ カラーモードは CMYK から変更しないでください

カラーモードは必ず CMYK で作成し、RGB などに変更をしないでください。CMYK 以外ですと綺麗に印刷がされない可能性があります。

✓ 文字のラスタライズ（画像化）をしてください

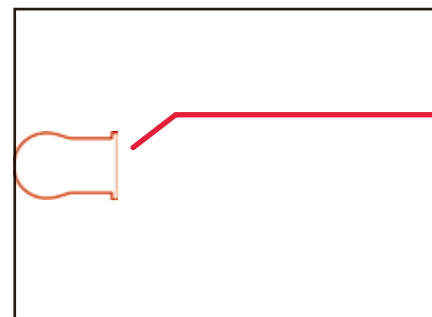
文字がラスタライズされていないと、正しく文字が表示されない可能性があります。必ずラスタライズ（画像化）を行ってください。

★ラスタライズの方法

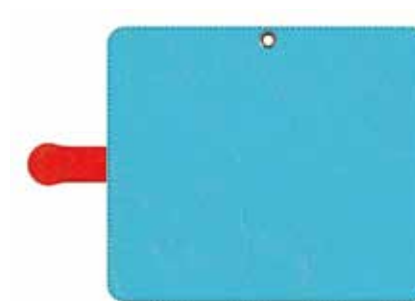
1. テキストレイヤーを右クリック
2. 「テキストをラスタライズ」を選択

✓ ベルト部分のデザインは「ベルト部分デザインライン」にしてください

ベルト部分のデザインは、必ず「ベルト部分デザインライン」内に収めるようにしてください。はみ出したり・足りない場合は十分に印刷されない可能性があります。



ベルト部分デザインライン



このような完成予想図の場合は



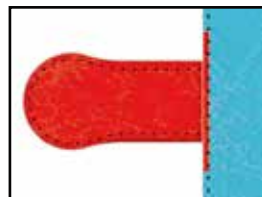
左記のような印刷画像になります

4. ベルト部分デザインについて

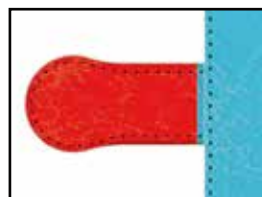
本体部分とベルト部分の色を変えるデザインの場合、印刷時のズレにより、「ベルト部分の色が本体部分にはみ出す」「本体部分の色がベルト部分にはみ出す」場合があります。予めご了承ください。

・本体部分とベルト部分の色が異なるデザインの
完成予想図

★「ベルト部分の色が本体部分にはみ出す」例

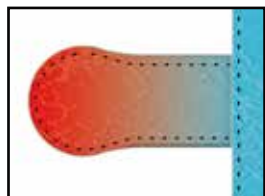


★「本体部分の色がベルト部分にはみ出す」例



境目を「グラデーション」「ずれても影響の少ないデザイン」にさせていただくと比較的上記影響を受けずに印刷が出来ますのでご参照ください。

例 1)「グラデーション」



例 2)「ずれても影響の少ないデザイン」

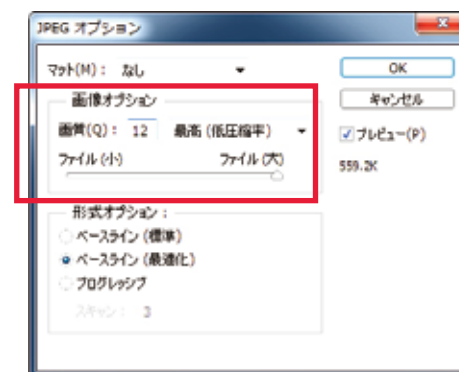


5. 印刷に関する注意点

- ・側面の印刷についてはケースの形状により、濃度が薄くなったり、絵柄の歪みが発生する事があります。
- ・製作工程上、インクの周り込みによりケースの内側（裏側）に微量のインクが付着する事があります。
- ・当社の印刷条件に合ったデータをご入稿いただき、当社では手を加えず、ご入稿頂いたデータにて製作致します。色合わせ等データの修正が必要な場合は別途ご相談させていただきます。
- ・当社の専用ケースでの製作となります。また、ケースメーカーの都合により、予告なくケースの形状及び色味が変わる事があります。また、状況により取扱い機種を廃盤とさせて頂く事があります。その際は事前にご連絡させていただきます。
- ・埃等の混入により、微少のピンホール・黒点等が発生する事があります。
- ・1～2mmの印刷位置のズレが発生する事があります。

6. 書き出し方法

1. ファイルから別名で保存を選択。
2. ファイルの種類を jpg にし、保存ボタンを押す。
3. 「JPEG オプション」が表示されるので、
画質：12 / 「最高（低圧縮率）」にして保存。
- ・不要なレイヤーは必ず非表示にしてから書き出して下さい。「被るベルト部分」レイヤーなどが表示されたままだと、ラインがそのまま印刷されてしまいます。
4. 元々のデータ名の後に「- (ハイフン) デザイン名」を加えてください。



7. 入稿について

下記 2 点をフォルダに格納の上、ご入稿ください。

- ① デザインした psd
確認のために使用致します。
- ② 書き出した jpg 画像
こちらが印刷画像になります。



ほか、「本体とベルト部分が同じ色」「パターンを敷き詰めたデザイン」などは上記の影響が目立たず印刷をする事が出来ます。

☒ 入稿前のチェックリスト

☐ 文字のラスタライズ（画像化）はされていますか

文字がラスタライズ（画像化）されていないと、正しく文字が表示されない可能性があります。必ずラスタライズ化を行ってください。

☐ 解像度は 300dpi になっていますか

解像度が異なると印刷が鮮明にされない可能性があります。必ず解像度は 300dpi のまま保存してください。

☐ カラーモードは CMYK になっていますか

CMYK 以外だと印刷した際色味が変わってしまう可能性があります。必ずカラーモードは CMYK のまま保存してください。

☐ ファイル名は全て半角英数字になっていますか

ファイル名にはひらがな・カタカナや全角数字は使用せず、必ず半角英数字を使用してください。また、_（アンダーバー）とスペースも除いて下さい。
名前は元々のデータ名の後に「-（ハイフン）デザイン名」を加えてください。

例）「1234」というデザイン名の機種 iPhone6 の場合

→diary-iphone6-1234.jpg（diary-機種-デザイン名 になります）

☐ 入稿データはそろっていますか

下記 2 点をフォルダに格納の上で入稿ください。

- ① デザインした psd
- ② 書き出した jpg 画像